

今冬の節電に関する政府への意見と関西広域連合の取組みについて

本日、関西電力株式会社から示された資料により、今冬、関西電力管内においては、一定の節電を府県民、事業者の皆様にお願ひせざるをえない状況であることを確認した。

電力需給のひっ迫時には、他の電力会社から緊急の電力融通をいただけるよう、現在、政府において最終の調整が行われていると聞いている。

このため、関西広域連合は、今冬の関西での電力需給が、これまでの関西広域連合の取組みとの整合を十分図られたものとなり、停電に至ることの無いよう、政府に以下の意見を申し述べる。

- 1 今夏の経験も踏まえ、節電の要請に当たっては、以下の事項を適切に行うこと。
 - ① 当面10%程度の節電をめざす方向で検討し、国、関西広域連合及び関西電力(株)で整合のとれたものとする。
 - ② 産業活動や都市魅力の創造にできる限り支障が生じないように、十分配慮すること
 - ③ 節電メニューをわかりやすく情報提供すること。
- 2 関西において決して停電という事態に至ることのないように、電力余裕のある他の電力事業者から緊急時に追加的な電力融通がなされるよう国内における電力の供給力のより一層の調整を行うこと。

また、関西広域連合としては、近畿経済産業局や関西電力(株)とともに、節電の具体的な方策や、「でんき予報」に基づく需給ひっ迫時の対応などについて協議調整の上、府県民や事業者には節電の取組みを働きかけることとする。

平成23年10月27日

関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田由紀子
委員	京都府知事	山田啓二
委員	大阪府知事	橋下 徹
委員	鳥取県知事	平井伸治
委員	徳島県知事	飯泉嘉門